

令和5年度

参加費無料

# 『Innovation Ecosystem in Shiga』

～ オープンイノベーション方式による企業・大学と滋賀県内企業のビジネスマッチング会 ～

## 第2回 参加者募集のご案内

滋賀県と滋賀経済産業協会の協働で「びわ湖環境ビジネスメッセ」を継承する新たなビジネス創出の場として今年度は第3回を迎えることになり、参加者募集のご案内を致します。

過去2年間では、イノベーション創出に意欲のある方々のご参加により、多数ビジネスの引き合いが生まれました。本年度は新たな試みとして、県内企業に加え、滋賀県の姉妹友好州省であります中国・湖南省より参加いただきます。さらには、県内ベンチャー企業の参加により、マッチング機会を広げる取り組みとしております。

このビジネスマッチング会では、オープンイノベーション方式を用いることで、各企業や大学からニーズやシーズが提案され、その提案に参加企業が持つ技術などを提供して新しいビジネスを創出します。なお、環境ビジネスだけでなく、この機会のご活用による、改善、生産性向上や人材育成も期待できるものです。

この取組みにご賛同いただき、イノベーション創出に意欲のある方々の参加をお待ちしております。

### ビジネスマッチング会の概要

#### 【概要】

- 内容： 大手企業・大学から提案された「ニーズ・シーズ」を説明する全体説明会を開催  
会場内に、展示・相談ブース・商談スペースを併設し、ビジネスマッチング面談を開催
- 開催日： 第1回企業提案 8月23日（水）10時～17時 大津市 琵琶湖ホテル  
第2回大学提案 11月14日（火）10時～17時 草津市 クサツエストピアホテル  
第3回企業提案 2月21日（水）10時～17時 近江八幡市 ホテルニューオウミ
- 対象者： 県内に事業所を置き、オープンイノベーションで自社の技術・サービス・ソリューションを提供したい企業
- 募集人員： 各回100名程度
- 参加費： 無料

#### 【ビジネスマッチング会の流れと特徴】

1. 企業・大学から提案されたニーズ・シーズを箇条書きにしたものを事務局から各回毎、事前に送付いたします（裏面の第一回ビジネスマッチングテーマをご参照ください）
2. 本参加申込は、下記事務局小木曾宛に申込項目を記載したe-mailまたはFAXを、お送りください
3. ニーズ・シーズを社内にて分野を広げ、事前にご検討ください
4. **ご興味のある案件は事前に事務局へご連絡いただくことで、マッチング会開催日以前に提案企業・大学側と面談いただく機会を設けるよう調整いたします**  
**事前の事務局へのご連絡により、当日の提案企業、大学との相談会を充実したものとすることができます**

#### 参加申込書

参加申込は、可能であれば、今後のご連絡の都合上、代表者（窓口の方）のご登録をお願いいたします。

会社名：

申込代表者氏名：

役職：

TEL：

FAX：

E-Mail：（必須）

参加人数

人

申し込み先：（一社）滋賀経済産業協会 事務局 小木曾, 松田 or 岸本 宛て

TEL：077-526-3575 FAX：077-526-3577 e-mail: y-ogiso@s-keisankyo.or.jp

e-mail: t-matsuda@s-keisankyo.or.jp

e-mail: t-kishimoto@s-keisankyo.or.jp

## 令和5年度 Innovation Ecosystem in Shiga ビジスマッチング会開催プログラム

### 第1回 ビジスマッチング会 8月23日(水) 10時~17時 大津市：琵琶湖ホテル

時間	プログラム項目	内容
午前の部		
10:00~10:10	主催者挨拶	滋賀経済産業協会、滋賀県
10:10~10:55	基調講演	「サーキュラーエコノミーについて(仮)」経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 課長補佐 吉川泰弘氏
11:00~11:30	技術説明会 (各企業30分)	<b>富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)</b>
11:30~12:00		<b>(株)イヅケア</b>
12:00~12:30		<b>(株)アテクト</b>
12:30~14:00	昼食休憩 相談会・商談会	展示会場に各企業のブースを設け、発表いただいた技術の資料や製品の展示があります。 (質疑、ご相談は常時可能ですので、お気軽に訪問し、ご利用ください。)
午後の部		
14:00~14:30	技術説明会 (各企業30分)	<b>(株)ナカサク</b>
14:30~15:00		<b>株洲南方バルブ(株)</b>
15:00~15:30		<b>(株)Air Business Club</b>
15:30~17:00	相談会・商談会	発表終了後、各企業のブースにて質疑、名刺交換など、この機会を最大限ご利用ください。

### 第2回 ビジスマッチング会 11月14日(火) 10時~17時 草津市：クサツエストピアホテル

時間	プログラム項目	内容
午前の部		
10:00~10:10	主催者挨拶	滋賀経済産業協会、滋賀県
10:10~10:55	基調講演	「AIの動向について(仮)」日本マイクロソフト(株) 業務執行役員エバンジェリスト 西脇資哲氏
11:00~11:30	技術説明会 (各大学30分)	<b>岐阜大学</b>
11:30~12:00		<b>龍谷大学</b>
12:00~12:30		<b>立命館大学</b>
12:30~13:30	昼食休憩	展示会場に各大学のブースを設け、発表いただいた技術の資料や製品の展示があります。 (質疑、ご相談は常時可能ですので、お気軽に訪問し、ご利用ください。)
13:30~14:30	相談会 ネットワークづくり	
午後の部		
14:30~15:00	技術説明会 (各大学30分)	<b>長浜バイオ大学</b>
15:00~15:30		<b>中南大学</b>
15:30~16:00		<b>滋賀県立大学</b>
16:00~17:00	相談会 ネットワークづくり	発表終了後、各大学のブースにて質疑、名刺交換など、この機会を最大限ご利用ください。

### 第3回 ビジスマッチング会 2月21日(水) 10時~17時 近江八幡市：ホテルニューオウミ

時間	プログラム項目	内容
午前の部		
10:00~10:10	主催者挨拶	滋賀経済産業協会、滋賀県
10:10~10:55	基調講演	「IOWNなど新しい通信技術について(仮)」NTT
11:00~11:30	技術説明会 (各企業30分)	<b>(株)ヒラカワ</b>
11:30~12:00		<b>滋賀県工業技術総合センター</b>
12:00~12:30		<b>(株)クリスタル光学</b>
12:30~14:00	昼食休憩 相談会・商談会	展示会場に各企業のブースを設け、発表いただいた技術の資料や製品の展示があります。 (質疑、ご相談は常時可能ですので、お気軽に訪問し、ご利用ください。)
午後の部		
14:00~14:30	技術説明会 (各企業30分)	<b>長沙理工大学</b>
14:30~15:00		<b>ダイニック(株)</b>
15:00~15:30		<b>(株)ノバルジェン</b>
15:30~17:00	相談会・商談会	発表終了後、各企業のブースにて質疑、名刺交換など、この機会を最大限ご利用ください。

令和5年度 Innovation Ecosystem in Shiga **第2回 ビジネスマッチング テーマ(午前の部)**

**11月14日(火) 10時~17時 草津市: クサツエストピアホテル**

時間	プログラム項目	大学名	内容
10:00~10:10	主催者挨拶		滋賀経済産業協会、滋賀県
10:10~10:55	基調講演		「AIの動向について(仮)」 日本マイクロソフト(株) 業務執行役員エバンジェリスト 西脇資哲氏
11:00~11:30		岐阜大学	① <b>ものづくりを支える「匠の技術」の自動化や後継者への技術伝承に使える技術を開発(工学部 伊藤教授)</b> メカトロニクス機器の位置決めや力制御・性能向上に必要なモーションコントロール技術、触覚センサ・画像認識等のセンシング技術、人工知能のメカトロニクス応用に関する研究開発に取り組んでおり、具体的にはバリ取りロボット、ドリル加工ロボットや自動ワイヤリングシステムを実現しています。
			② <b>低剛性ロボットによる精密孔あけ加工に関する研究とロボットの性能向上を目的としたモータ開発(工学部 八田助教)</b> ロボットの位置決め精度及び振動などの課題を、専用に開発したエンドエフェクタとモーションコントロール技術により解決し、コンパクトかつ低価格な低剛性ロボットによる高精度孔あけを可能にします。また、エンドエフェクタを含むロボット自体の小型軽量化のため、一台で複数台分のモータ動作を実現する多自由度モータの開発も行っています。
			③ <b>水と空気による表面改質技術(工学部 武野教授)</b> 水中の微細泡が圧壊する力は、素材表面を削るほどの力があり、表面に極性官能基を付与することが可能です。プラスチック材料から炭素繊維まで、水と空気だけで表面処理を行うことができ、炭素繊維強化熱可塑性樹脂に適用すると界面接着性が向上します。水の泡にならない泡の技術です。
			④ <b>網状微多孔相を利用した高分子の複合化と応用展開(工学部 高橋助教)</b> 簡便な力学処理により発生したクラス内に存在するナノスケールの多孔相を利用し、撥水性と水付着性を併せもつナノ粒子/ポリプロピレン複合素材の異方めれ性制御と大気から水を取り出す集水能、並びに多孔相をナノカプセル化させる方法の研究と製品への応用例のご紹介をします。
			⑤ <b>脱炭素社会の炭素材料で貢献 ~未来型炭素系複合材料の研究開発~(工学部 入澤准教授)</b> 脱炭素が謳う炭素は二酸化炭素であり、炭素材料はあらゆる分野でサステナブルな社会の実現に貢献しています。そうした中で、低環境不可な炭素材料資源の活用、また、利用することによって新エネルギー分野や省エネルギー分野に貢献する未来型の炭素系複合材料の開発と応用研究に取り組んでいます。
11:30~12:00	技術説明会 各大学30分	龍谷大学	① <b>植物と微生物の相互作用の可視化</b> 植物にも免疫機構があり、病原体に感染した時、昆虫の食害を受けたときに身を守る防御応答が行われます。防御応答遺伝子の発現状況を可視化することにより、リアルタイムでの防御応答メカニズムを探求するとともに、植物活性剤の評価などにも展開できます。
			② <b>水溶液からの金属酸化物薄膜の合成とその応用</b> 電気的、光学的、化学的に興味深い特性を有する金属酸化物薄膜は、半導体、ディスプレイ、触媒等の様々な分野で幅広く利用されている重要な材料です。この金属酸化物薄膜を水溶液から低エネルギーで直接基板上へ製膜する技術、およびその応用例について紹介します。
			③ <b>機械学習による使用電力量の予測</b> スマート電力蓄電システムに向け機械学習による季節・温度などの環境条件や時間から使用電力量を予測し、数理最適化理論により、設置場所や季節に依存する日照データと発電量データをもとに天気予報から太陽光発電量を予測することで自家消費率の効率を向上させます。
12:00~12:30		立命館大学	① <b>様々な油脂や廃油が原料に！新規バイオプラスチック&amp;接着剤</b> (三原久明 生命科学部生物工学科) リサイクルが容易で海洋分解性を付与することも可能な新しいカテゴリーの樹脂「FADP」を発明。熱硬化性で高い極性から接着材としても機能する新技術。
			② <b>循環型農業における植物生長促進技術について</b> (熊木武志 理工学部電子情報工学科) LEDにより光合成光量子束密度 (PPFD)の1/fゆらぎを野菜に与えることで野菜の生育促進を実現。低消費電力化にも貢献し野菜工場のコストを削減する。
			③ <b>水面に浮かべて水質浄化！再利用可能な可視光応答光触媒技術</b> (田口耕造 理工学部電気電子工学科) 外殻の内側が中空構造を有していることで浮力になる新技術。沈殿せず光触媒機能を保つことが可能なため、廃液・ため池・家庭排水などの水質浄化に活用可能。
			④ <b>高速移動体にも狙いを定めてビームを制御！高性能位相器</b> (野坂秀之 理工学部電気電子工学科) 高速切替・低消費電力・高線形を両立した新回路構造の新技術。高速無線通信や遠隔ワイヤレス給電の快適な生活の実現を目指す。
12:30~13:30	昼食休憩		展示会場に各大学のブースを設け、発表いただいた技術の資料や製品の展示があります。
13:30~14:30	相談会・ネットワークづくり		(質疑・ご相談は常時可能ですので、お気軽に訪問し、ご活用ください。)

令和5年度 Innovation Ecosystem in Shiga **第2回 ビジネスマッチング テーマ(午後の部)**  
**11月14日(火) 10時~17時 草津市:クサツエストピアホテル**

時間	プログラム項目	大学名	内容
14:30~15:00		長浜バイオ大学	<b>①フロンティアバイオサイエンス学科・植物分子環境生理学研究室 教授 蔡 見植</b> バイオテクノロジーを用いて作製した高付加価値植物品種とこれを用いた次世代農業の試み F1ハイブリッドや突然変異、ゲノム編集などを用いた高付加価値植物の作製とこれを用いた自立可能な農業の構築について事例を交えて紹介します。
			<b>②バイオサイエンス学部メディカルバイオサイエンス学科 教授 清水 正宏</b> 生物と機械の融合が生み出す産学連携と生物学教育 近い将来社会に必要とされる生物と機械のインタフェースに関する研究について、最近取り組んでいる水族館との連携の話を交えて紹介します。
			<b>③フロンティアバイオサイエンス学科・蛋白質機能解析学研究室 教授 長谷川 慎</b> バイオエアロゾル分析システムの開発:エアロゾル(埃・塵・生物由来粒子)の分離捕捉とその分析を行うために、内部に精密フィルターを層状に配置した小型の吸引装置を新たに開発しました。これにより、戸外・屋内でPM2.5相当のエアロゾルをサイズ選択的に採取することができます。採取したエアロゾル試料は、元素組成分析による化学組成分析のほか、PCR法・グラム染色法・培養法により付着したウイルス・細菌・カビ孢子の検出と同定が可能です。この技術を利用して、特定の空間に浮遊する細菌やウイルスの検出により、室内の安心・安全を保証します。
15:00~15:30	技術説明会 各大学30分	中南大学 (中国湖南省)	<b>高塩度の複雑な排水、資源化の処理について</b> 湖南省長沙市に位置し、旧湖南医科大学、長沙鉄道研究所、中南理工大学の合併により2000年4月に設立。旧中南理工大学の前身は1952年に設立の中南鉱業冶金研究所、旧長沙鉄道研究所の前身は1953年の中南土木建築研究所、旧湖南医科大学の前身は、1914年に設立の襄雅医科大学で中国で最も初期の西洋医科大学の1つである。 非鉄金属、医学、鉄道輸送、その他の分野を含み、哲学、経済学、法律、教育、文学などの幅広い分野も持つ総合大学。
15:30~16:00		滋賀県立大学	<b>①工学部 材料化学科 准教授 秋山 毅</b> ・ラマン散乱分光分析の汎用性と感度向上のための銀ナノ粒子・銀ナノ構造体の開発と、実際の分析プロセスへの応用。 ・可視光をエネルギー源として用いる有機物の分解や有用化合物の合成を目指した酸化チタン-金・銀ナノ粒子複合材料の開発。
			<b>②工学部 機械システム工学科 准教授 河崎 澄</b> カーボンニュートラルの達成に貢献する技術として、CCUS(Carbon-dioxide Capture Utilization and Storage)を指向した、燃焼排ガスからCO2分離技術と、CO2だけを排出する燃焼技術~酸素燃焼技術~の研究について紹介します。
			<b>③人間文化学部 生活栄養学科 准教授 遠藤 弘史</b> 食品成分を基とした疾病の治療薬開発に向けてー本研究では、機能性食品として知られているポリフェノール類を中心に、それらが細胞内ストレス蛋白質に与える影響に着目し、食品成分が有する生理活性についての詳細を明らかにすることで、疾病に対する創薬につながる基礎研究を行っています。主には、食品成分が有する癌細胞に対する増殖抑制効果を分子レベルで明らかにする事で、新たな抗癌剤開発の構造基盤のヒントに繋がる様な研究を目指しています。我々が標的としているのは、癌の予後を大きく左右する転移再発の原因と考えられている癌幹細胞です。
16:00~17:00	相談会・ネットワークづくり		発表終了後、各大学のブースにて質疑、名刺交換など、この機会を最大限ご活用ください。